

道徳教育の指導計画作成のポイント

氏名（ ）

1, 道徳教育の目標は何ですか。また、道徳教育はどこで行えばよいですか。

2, 道徳性とは何ですか。

3, 道徳の時間の目標は何ですか。

4, 道徳的価値の自覚とは何をどうすることですか。

5, 道徳的実践力とは何ですか。

6, 道徳教育の全体計画を作成する上で、どのような点に留意すればよいですか。

7, 道徳の年間指導計画を作成する上で、どのような点に留意すればよいですか。

道徳

1 道徳教育全体計画の現状と課題

道徳教育の目標である道徳性を養うことは、学校生活全体を通して行われる。道徳の時間を「かなめ」として、各教科等のそれぞれの特質に応じて指導を行わなければならない。このことから学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の全体計画が必要になる。道徳教育の全体計画は、学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、道徳教育の目標を達成するための方針を総合的に示した教育計画である。

道徳教育推進状況調査報告書（平成15年度文部科学省調査）によると、道徳教育の全体計画の作成は、小学校で95.6%，中学校で92.7%であり、ほとんどの学校で作成されているが、大切なことは、この計画が日々の教育活動に機能し活かされているかである。紙面上の形式的な計画でなく、子どもの指導に具現化できる計画でなくてはならない。

2 全体計画作成のポイント

(1) 校長を中心として、全教師でプランを作成する

道徳教育の全体計画が生きて働くためには、校長がリーダーシップを發揮し、全教師の協力によって計画を作成し、それを全教師が共有する必要がある。

(2) 各学校の特色を生かして重点的な道徳教育が展開できるようにする

各学校における課題を明確にしながら、各学校の特色を生かした教育活動や体験活動を効果的に位置付けるなど重点的な道徳教育が展開できるように創意工夫する。

(3) 「心のノート」の活用方針を示す

道徳教育の充実のために作成された「心のノート」をどのように用いるかについて、学校の基本方針を示す。

(4) 家庭・地域社会、近隣の諸学校との連携を図る

全体計画を具体化するには、児童生徒、保護者、地域の人々の協力が不可欠である。

また、近隣の幼稚園や保育所、小・中学校との連携を図り、共通の関心の下に指導を行うことが大切である。

(5) 評価・改善をしていく

全体計画は、固定的なものと考えず、子どもの実態等により、学期ごとに、全教師で見直しを図るなど、より望ましいものへと評価・改善していくべきものである。

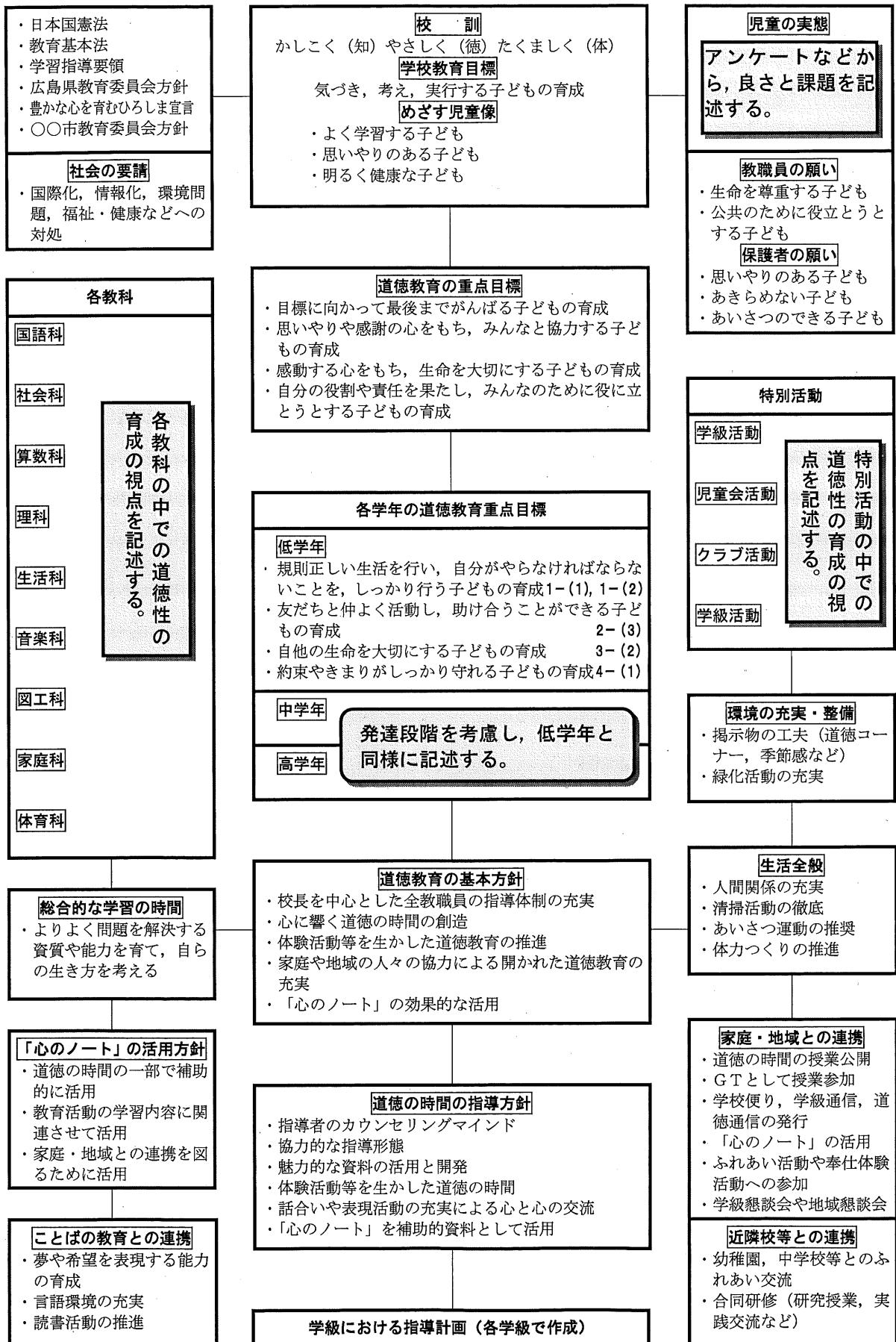
3 全体計画作成の手順

- ア アンケートなどを行い、児童生徒の実態や保護者・地域の人々の願いなどを全教職員が把握する。
- イ 学校目標に応じて、学校における道徳教育の重点目標を設定する。
- ウ 学校における道徳教育の重点目標に基づいて、各学年の重点目標を具体化し、学年段階に応じて系統的に設定する。
- エ 道徳教育の基本方針や道徳教育のかなめとしての道徳の時間の指導方針を示す。
- オ 各教科、特別活動、総合的な学習の時間などにおける道徳性の育成の視点をおさえる。
- カ 「心のノート」の活用や各学校の特色ある教育活動、豊かな体験活動における道徳性の指導の方針を示す。
- キ 学級、学校の人間関係や環境の整備、生活全般における指導の方針を示す。
- ク 家庭、地域社会、他の学校や関係機関との連携の方法を具体的に示す。

年間指導計画は、中学校道徳を参照

4 道徳教育全体計画（例）

○○小学校



道徳

1 道徳の時間の年間指導計画の現状と課題

道徳教育の「かなめ」であり、道徳的実践力を育成する道徳の時間の学習内容を、1年間を通して主題として構成し配列したものが、道徳の時間の年間指導計画である。これは、道徳教育の全体計画に基づいて、各学年で年間を通して系統的・発展的に学習が展開できるように作成されるものであり、学習指導案の拠りどころとなるものである。

道徳教育推進状況調査報告書（平成15年度文部科学省調査）によると、道徳の時間の年間指導計画の作成は、小学校で98.2%，中学校で97.7%であり、ほとんどの学校で作成されている。しかし、内容についてみると、指導の時期、主題名、ねらい、資料名で構成されたものがほとんどで、各学年の基本方針や展開の大要、「心のノート」の活用を記述している年間指導計画は少ない。

2 年間指導計画作成のポイント

(1) 各学年の基本方針を示す

全体計画の道徳の時間の指導方針を受けて、学年の指導方針を具体的に示す。

(2) 関連的・発展的指導について検討する

4つの視点相互の関連や内容項目相互の関連を考慮した指導を考えるとともに、小学校6年間あるいは中学校3年間を見通した発展的な指導が行えるように工夫する。

(3) 重点的な指導の工夫をする

道徳教育の重点目標や各学年の重点目標を達成するために重点的な指導を行うことについて、子どもや学校の実態に応じ、重点的に取り上げる内容項目を検討し、指導時数を増やしたり、繰り返し取り上げたりして、年間指導計画に位置付ける。

(4) 展開の大要及び指導の方法をまとめる

毎週の道徳の時間を計画的に進めるために、ねらいと資料からどのように授業を展開するかを考え、中心発問及び基本発問を記述する。

(5) 「心のノート」の活用を位置付ける

補助資料として、「心のノート」の題材を位置付け、必要に応じて活用できるようにする。

3 年間指導計画作成の手順

- ア 各学年の指導の基本方針や指導の重点を設定する。
- イ 発達段階を考慮して、学習内容を明確にし、主題として構成する。
- ウ 学習指導のねらいを具体化し、それに適した資料を用意する。
- エ 指導の時期を決定し、主題を年間にわたって配列する。
- オ ねらいと資料から展開の大要や学習指導の方法について考察する。
- カ 各教科、特別活動、総合的な学習などどのようにかかわりをもつか明記する。
- キ 主題と関連する「心のノート」の活用を考える。
- ク 指導形態の工夫などを考える。

全体計画は、小学校道徳を参照

4 道徳の時間の年間指導計画（例）

年間指導計画は、各学年の基本方針と年間にわたる指導の概要を示す。

【基本方針】

○○中学校 第1学年

重点指導 内容項目	1 - (2) 希望・勇気 2 - (3) 信頼友情 3 - (2) 生命尊重 4 - (1) 役割・責任 4 - (7) 愛校心
道徳の時間の 基本方針	<p>1 信頼関係や温かい人間関係の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感的、受容的态度で一人一人の意見を認める。 ・支持的風土のある学級経営を行う。 <p>2 多様な指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副読本、「心の元気 I・II」、文部省資料などの読み物資料を基本とし、多様な資料を効果的に活用する。 ・場面絵やフラッシュカードを使い、効果的な資料提示を行う。 ・役割演技などの表現活動を行う。 ・カラーサインやネームプレートなどの意思表示カードを活用する。 ・「心のノート」を補助資料として活用する。 <p>3 協力的な指導形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長や教頭の参加、他の教師との協力的な指導を行う。 ・保護者や地域の方をGTとして活用する。

資料の特質を生かし、道徳的心情、判断力、実践意欲や態度を育成する視点や主題を児童生徒に結びつけて考え、具体的に記述する。

主題のねらいがとらえやすいように簡潔な表現にする。また、ねらいに對してこの資料を選定した理由を示すことも望まれる。

「○○ひらく」(○○図書)
「自作資料」と資料の出典を明記する。

【指導の概要】

月	週	主題名	内容項目	資料名	出典
4	1	心も体も元気で	1 - (1)	明日への出発	「読み物資料との利用」(文部省)
		ねらい	マラソン大会に向けて、一生懸命練習に取り組む私の姿を通して、心も体も健康な生活をしようとする態度を育てる。		
		展開の大要 主な発問	1 「心のノート」P14・15「元気ですかあなたの心とからだ」を読む。 2 資料「明日への出発」を読んで話し合う。 ○早朝練習を始めた時の私は、どんな気持ちだっただろう。 ○4日ぶりのマラソンでどんなことを感じただろう。 ○「1日1日が、積もり積もって私の人生になる」とは、どういうことだろう。 3 自分の生活を振り返る。 4 GTからの話を聞く。	「心のノート」の活用ページを示す。また、主題と連する「心のノート」のページを示し、実際の指導の中で弾力的に生かすことも考えられる。	
		授業の主な流れ を記述する。 ◎などで中心発問 を示す。			
他の教育活動との関連		心のノートの活用		その他	
・学級活動（生活目標） ・保健体育		導入P14・15「元気ですかあなたの心とからだ」		終末で、GTの話	
指導の記録		私の言葉に込められた思いを考えた中心発問は、自分のこととして考えにくかった。GTの○○さんの話は、生徒の心に響く話であった。			

特に関連する教育活動や
体験活動、学級経営の取組みなどを示す。

授業後の、反省や気づきなどを記述し、
次年度に生かす。

校長や教頭の参加及び教師の協力的な指
導の計画、保護者や地域の人々の参加・協
力の計画などを示す。